



北方領土の日

4島チームで返還を願う「特大カルタ大会」

毎日新聞 2017年2月7日 18時09分 (最終更新 2月7日 18時45分)



校庭のスケートリンク上で特大カルタを取り合う児童＝北海道根室市立海星小で
2017年2月7日午前11時2分、本間浩昭撮影

北海道根室市立海星小校庭の特設スケートリンク

「北方領土の日」の7日、北海道根室市立海星小（児童43人）校庭の特設スケートリンクで、北方四島返還を願う特大カルタ（縦60センチ、横40センチ）を使った「四島（しま）カルタ大会」が開かれた。

国後、択捉、歯舞、色丹の4チームの代表が「日本とロシアの距離が縮まるよう、両国の懸け橋として正々堂々戦う」と力強く宣誓。粉雪が舞う厳しい寒さの中で、対戦の幕が開けた。

「昔のように島で平和に暮らしたい」「根室と北方領土は親戚だ」など元島民の望郷の思いが込められた札が読み上げられるたびに、ヘルメット姿の児童がカルタに突進。一直線の思いが、交渉進展の力となるか。【本間浩昭】

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。

Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.